

第4部 くだものの部

(1) りんごコンクール(シナノスイート) 《 審査日:平成24年10月19日 》

①審査所見

長野県で育成された「シナノスイート」は平成23年の栽培面積が568haで、「ふじ」「つがる」に次ぐ品種となっています。商品化率が高く、長野県オリジナル品種の推進上重要な位置付けにあります。また、食味が良好で、消費者の評価も高く、日本農業新聞の行った果実売れ筋予測ランキングでは、2008～2010年調査で連続1位、2011～2012年調査で2位とトップクラスになっています。「シナノスイート」のコンクールは、県内での産地育成と栽培技術および品質の向上を図ることを目的に平成15年から実施されており、本年は77点の出品がありました。

審査は、果樹試験場をはじめ関係機関が審査員として、厳正かつ公正に行いました。審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用して食味にも配慮した審査としました。

本年は、結実はおおむね良好で初期肥大も順調でしたが、梅雨明け後の7月下旬以降は高温乾燥となり、10月上旬まで平年よりも高めの気温で推移しました。出品物は日頃の丹精込めた管理が拝察され、生産者の栽培技術や出品技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

出品財全体の平均糖度は、14.4%と昨年とほぼ同等で、この品種最大の魅力である良食味の果実に仕上がっていました。上位入賞品は、着色期に気温が低下しやすい産地が多い傾向でしたが、着色環境の良さに加え、葉摘み、玉回しなどの管理が十分行われ、素晴らしい着色に仕上がっていました。入賞を逃した出品財は、その他は遜色ないものが多く、差は果実の大きさのばらつき、果形不良、着色の不揃い、梱包時の押し傷などの極些細な欠点によるものでした。日焼け果は一部にありましたが、本年の猛暑を考慮すると最小限に抑えていたと思います。全体に、栽培面積の増加にともない栽培技術も着実に向上していることがうかがえました。入賞に向けては一層のきめ細かな管理や配慮が必要と感じられます。

出品者の皆様には県オリジナル品種の栽培に積極的に取り組み、また、猛暑を克服し、栽培技術の粋を尽くした果実を多数出品していただいたことに感謝申し上げます。受賞されました皆様にお祝い申し上げますとともに、今後とも各地域での生産振興に先導的にご尽力いただきますようお願い申し上げます、審査所見といたします。

②入賞者名簿

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
農林水産大臣賞	古 幡 芳 明	山ノ内町
長野県知事賞	小 林 和 幸	山ノ内町
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	小 林 政 夫	山ノ内町
	湯 本 幸 作	山ノ内町
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	遠 藤 喜 郎	松川村
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	吉 澤 幹 雄	佐久市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	藤 岡 喜 美 夫	安曇野市
	山 崎 晃	小布施町

(2) りんごコンクール(シナノゴールド) 《 審査日:平成24年10月31日 》

①審査所見

「シナノゴールド」の栽培技術及び品質の向上を目的とした本コンクールも、今年で9回目を迎えました。年々品質の向上が実感されますが、関係各位には本品種の振興に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年は県下各地から出品された56点について、果樹試験場並びに関係機関が厳正に審査にあたりました。審査員を代表して審査の所見を申し上げます。本年は、7月下旬の梅雨明け後、著しい高温・乾燥が続くなど気象条件が厳しく、栽培にあたっては大変苦勞されたことと存じます。しかし、出品財は栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実が多く、日頃の丹精込めた栽培管理が拝察されました。

出品財全体の平均糖度は14.2%で昨年に比べてやや高い状況でした。上位入賞品は、黄色く仕上がり果形もよく揃っていました。入賞を逃した出品財は、黄色の着色不足、サビ果や裂果などの軽欠点果の混入が残念ながら見受けられました。また、押し傷の果実も見られましたので、丁寧な取り扱いをお願いします。日焼け果は一部にありましたが、本年の猛暑を考慮すると最小限に抑えていたと思います。

「シナノゴールド」は、食味や貯蔵性など優れている点が多く、非常に魅力的な品種です。黄色の品種であるため適期収穫の把握や裂果の発生等いくつか課題はありますが、これらを克服されておいしい「シナノゴールド」を消費者にお届けすることが、長野県のりんご産地維持並びに生産者の経営向上には必要なことと存じます。

さらなる「シナノゴールド」の商品力向上が図られますよう、関係各位の御協力を賜りますことをお願いするとともに、りんご産業の益々の振興をご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
農林水産省生産局長賞	丸 山 阿 喜 夫	須 坂 市
長野県知事賞	中 村 豊 一	高 山 村
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	清 水 裕	上 田 市
	本 多 曜 介	松 川 村
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	野 口 健 司	長 野 市
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	小 林 憲 司	中 野 市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	池 森 敏 文	須 坂 市
	西 澤 武 夫	長 野 市

(3) ぶどうコンクール(ナガノパープル・シャインマスカット) 《 審査日:平成24年9月24日 》

①審査所見

45回目を迎えた本コンクールは、無核で皮ごと食べられる品種を更に推進するため、昨年に引き続き「ナガノパープル」と「シャインマスカット」を対象とし、特に、今回は県内でも急速に栽培面積が拡大している「シャインマスカット」の収穫期にあわせ開催しました。

本年は、ブドウの幼果期にあたる7月上中旬に適度な降雨があり、生育期間全般を通じて高温多日照で経過したため、総じて果粒肥大は良好で糖度も高い傾向となりました。

一方、8月以降は少雨となり、かん水等夏季管理には特に苦心された事と思います。

このような状況の中、本年のコンクールの出品点数は「ナガノパープル」37点、「シャインマスカット」45点の計82点であり、優れたぶどうが多数出品されましたことは、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力の成果であると存じます。

「ナガノパープル」につきましては、特に果粒肥大は良好でありました。この結果、適正に着房管理がなされていながら果房重が重く減点となる出品が目立ちました。房型については、肩の部分がしまっていない出品もありましたが、総じて年々向上しており、関係機関の下、栽培技術が定着している事が感じられました。着色、糖度、食味は例年以上に素晴らしく、各房の揃いも良好でした。一部で裂果の発生などありましたが、生産や品質に影響を及ぼすほどではありませんでした。しかし、開花期の降雨に起因すると思われるサビが見られ、また、着粒密度は出品物により差があり、脱粒発生の原因となるものも見られましたので、一層の技術向上をお願いします。

「シャインマスカット」につきましては、緑色の強く残る未熟果房の出品は減少し、やや黄色味かかった適期収穫の果房が多く、収穫適期の徹底が図られていると感じられました。また、まだ若木のため房型が不揃であったり、糖度がやや低いもの、果面が褐変化するしみ症状が一部で見受けられました。今後も、長野県産「シャインマスカット」の銘柄確立のためには、より一層の統一した色調で、味の良いものが出荷される事が重要となります。本年作成したカラーチャート等も活用いただき銘柄確立に向け一層の技術向上をお願いします。

審査の結果、上位入賞されたものは、房型、着色、果粒肥大や食味など総合的に優れており、生産の模範となるものでありました。

果樹産業を取り巻く情勢は楽観を許さないものがありますが、新品種の統一的な品質向上が図られ、長野県のぶどう産地がますます発展されますことをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

ナガノパープルの部

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	坂 本 正 雄	須 坂 市
	吉 越 政 雄	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	樋 田 敏 孝	小 布 施 町
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	青 木 良 文	須 坂 市
	田 中 均	須 坂 市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	小 林 潤 一	上 田 市

シャインマスカットの部

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
長野県知事賞	上 沢 政 裕	須 坂 市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	鈴 木 浩 哉	生 坂 村
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	長 谷 川 市 三	千 曲 市
	三 井 伸 浩	中 野 市
全国農業協同組合連合会長長野県本部長賞	永 田 方 信	千 曲 市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	清 水 仁	東 御 市
	宮 澤 一 洋	中 野 市